

# Oracle Identity and Access Management Upgrade Factory

## 新たなコントロール・プレーンとして進化するアイデンティティ・インフラストラクチャ

テクノロジー環境がますます複雑になる中で、組織は複雑さを軽減して管理を強化したいと考えています。企業がその物理的な境界と仮想的な境界を変化させ、クラウドとオンプレミスにまたがるアプリケーションおよびユーザー・ワークロードを拡大するとともに、コンプライアンス/規制要件が発展し続けるにつれて、その力学とロジスティクスがより明白になりつつあります。組織はアイデンティティ・インフラストラクチャを新たなコントロール・プレーンとして発展させることで、セキュリティ、アイデンティティ、コンプライアンスの変化を受け入れ、管理しようとしています。



図1：いっそう複雑化するテクノロジー環境で複雑さを軽減し、管理を強化したいと考える顧客

## 新たなコントロール・プレーンとしてのOracle Identity and Access Management

オラクルには、何十年にわたってデータとアプリケーションを保護してきた実績があります。**Oracle Identity and Access Management**ソリューションは、クラウド・デプロイとオンプレミス・デプロイの両方で、エンタープライズ・アプリケーションへのアクセスを保護するように設計されています。これらのソリューションは、従業員から、請負業者、パートナー、顧客、市民まで、何百万ものユーザーに対応するスケーラビリティを備えており、**Oracle Cloud Infrastructure**およびアプリケーションとの統合を通じて、企業が規制遵守に対応し、運用コストを下げるために役立ちます。

オラクルは、機能の進歩、ユーザー・エクスペリエンス、技術のモダナイゼーション、運用効率に焦点を合わせて、アイデンティティおよびアクセス管理ソリューションを革新し続けてきました。これらはすべて、新たなコントロール・プレーンにとって重要な原則です。このようなイノベーションにより、Oracle Identity and Access Management 12cは、実証された成功に基づく揺るぎないエンタープライズ・コントロール・プレーンとなります。

## Oracle Identity and Access Management 12cの新機能

Oracle Identity and Access Management 12cは、さまざまなクラウド・イノベーションと補完ツールを通じて機能を強化するだけでなく、オラクルのアイデンティティおよびアクセス管理インフラストラクチャへの既存投資を最適化するための現実的な共存戦略を提供します。オラクルのアプローチは、お客様がアイデンティティおよびアクセス・ジャーニーのどこにしようと、お客様固有のニーズに合わせてソリューションの選択肢を提供することです。これらのソリューションが目指すのは、組織のセキュリティおよびリスク体制をさらに強化し、簡略化と柔軟性によりTCOを削減し、サポート対象外ソフトウェアの実行リスクを管理し、オラクルのアイデンティティおよびアクセス管理ソリューションに対するROIを高めることです。



図2：企業のアイデンティティ・コントロール・プレーンの基盤となるOracle Identity and Access Management 12c

**Oracle Access Manager (OAM)** を使用すると、アクセス管理の展開を全面的に管理、制御できるようになります。OAM 12cはコンテナ内にデプロイできるため、運用サポートが簡単になります。OAMのスナップショット・ツールにより、OAMのアップグレードと併せてオンプレミス・ワークロードをクラウド環境に移行し、改善することができます。また、OAMの更新により、パスワードレス・ログイン、OAuth同意管理、ジャストインタイム (JIT) プロビジョニング、マルチデータセンター・ライフサイクルの自動化、RESTを介したOracle Access Protocol (OAP)、グループ別の複数パスワード・ポリシーに対応するパスワード管理がサポートされています。

**Oracle Identity Governance (OIG)** は、現在市場で利用されている一般的なIdentity-as-a-Service (IDaaS) よりも堅牢性の高いアイデンティティ・ガバナンスおよび管理 (IGA) ソリューションを提供します。OIG 12cはコンテナを介したデプロイが可能で、マイクロサービス・アーキテクチャへの移行により、時間のかかるソフトウェア・アップグレードなしで、すばやく機能を更新できるようになりました。改善されたウィザード・ベースのアプリケーション・オンボーディング、アクセス・ポリシーの取得、ビジネス・フレンドリーなセルフサービス型アクセス・カタログにより、各部門のビジネス・オーナーが自分でエンタイトルメント・アクセスを管理し、IT運用の非効率さを最小限に抑えられます。OIG 12cでの集中的なレビューにより、認証管理が容易になり、一般データ保護規則 (GDPR) やサーベンス・オクスリー法などの特定のコンプライアンス目的に合わせたキャンペーンを構築できます。

**Oracle Unified Directory (OUD)** は、ストレージ、プロキシ、同期、仮想化機能を備え、柔軟にスケーリングできるオールインワンのディレクトリ・ソリューションです。OUD 12cはコンテナ内にデプロイできるようになっており、新しいSCIM Rest APIサービスにより、プログラムを使用したアイデンティティ情報へのアクセス (問合せ、取得、作成、更新、削除を含む) がサポートされています。

Identity-as-a-Service (IDaaS) が必要な場合、これらのソリューションに**Oracle Identity Cloud Service (Oracle IDCS)** を組み合わせることができます。Oracle IDCSは、強力な適応型認証、ソーシャル・ログオン、パスワードレス・ログイン、オンプレミスとの双方向同期、オンプレミス/クラウドのエンタープライズ・アプリケーションへのプロビジョニングを必要とする一般的なIDaaSユースケースのすべてに対応します。また、それほど一般的ではないユースケースとして、サインオン・ポリシーを介した要素別の多要素認証 (MFA)、ユーザーによる利用規約の同意管理、ルールベースのエンタープライズ・アプリケーション認可ポリシー、アプリケーション・ロールによるエンタープライズ・アプリケーションへのエンタイトルメントの割当て、APIベースのアプリケーション管理、IPベースのネットワーク境界による許可/拒否リストなどにも対応します。

## Oracle Identity and Access Management 11gの実行

ここまでで説明したように、11gからOracle Identity and Access Management 12cへのアップグレードには、ビジネス面でもテクノロジー面でも説得力ある理由があります。さらに、重要な注意点として、Oracle Identity and Access Management 11gに対するOracle Premier Supportは2020年12月に終了しており、Extended Supportは2021年12月に終了します。Oracle Identity and Access Management 11gのサポートは、**Oracleライフタイム・サポート・ポリシー**に従って変更されます。11gを使用中のお客様は12cにアップグレードすることで、Premierレベルのサポートを継続し、Extended Supportによるコストの増加を軽減できます。12cへのアップグレードを計画および実行するには、Oracle Identity and Access Management (Oracle IAM) Upgrade Factoryを利用できます。

## Oracle IAM Upgrade Factory

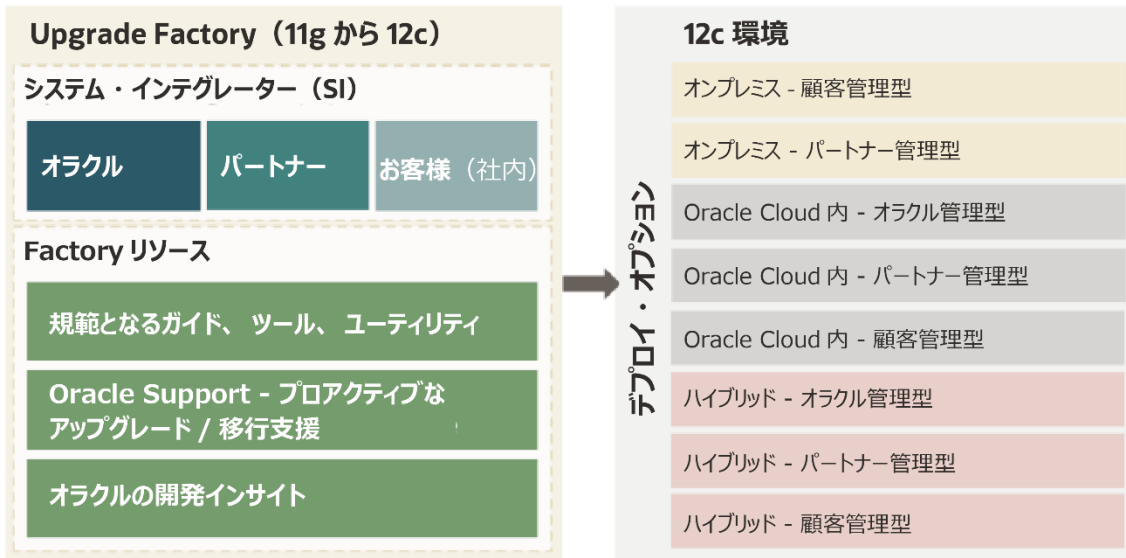


図3 : Oracle IAM Upgrade Factory

Oracle IAM Upgrade Factoryは、お客様がOracle Identity and Access Managementソフトウェアの最新バージョンを迅速に活用できるようにオラクルが行っている投資であり、アプローチです。Upgrade Factoryには、アップグレード・プロセスを効率化するためのリソースが含まれており、アップグレードしたソリューションの実行モデルをオンプレミス、クラウド、ハイブリッドから選択できます。これらのリソースは、社内ITによる実施であるか、またはOracle Consulting/Oracle Advanced Customer Services/オラクル・パートナーを利用するかといったアップグレード方法に関係なく提供されます。リソースには以下が含まれます。

- 推奨されるアップグレード戦略 : **OIM/OIG、OAM、OID/LOUD**のアップグレード戦略など
- “アップグレード方法”の規範を示したガイド : **OIG 12cPS3またはOIG 12cPS4、OAM 12cPS3またはOAM 12cPS4、OID 12cPS3またはOID 12cPS4、OUD 12cPS3またはOUD 12cPS4**へのアップグレード方法など
- アップグレード・タスクを迅速化するツールとユーティリティ : Oracle IAM 12cの機能とアップグレードに関するハンズオン・**ワークショップ**、アップグレード・パッチの適用にかかる時間と労力を大幅に削減する**パッチ適用ユーティリティ**など
- オラクルのライセンスとクラウド・サブスクリプションに関するガイダンス : **12cPS3または12cPS4リリース・ノート、サーティフィケーション・マトリックス、システム構成**の中央リポジトリなど
- プロアクティブな技術的ガイダンスおよびサポート : OIG/OIM 12cPS4 (Doc ID 2667893.2)、OAM 12cPS4 (Doc ID 2564763.2)、OID 12cPS4 (Doc ID 2679287.2)、OUD 12cPS4 (Doc ID 2664270.2) 向けのインタラクティブなセルフサービス型**アップグレード・アドバイザ**の使用、またはProactive Upgrade & Migration Assistance (PUMA) プログラムによるアップグレード期間中の専用Oracle Supportの利用など
- 12cへの移行を成功させるための、Oracle IAMエンジニアリング・リソースによるアップグレード・プロセスでの技術的障害/課題の解決支援

これらのリソースの目的は、11gを使用中のお客様が、アップグレード範囲を評価し、プロジェクトの現実的なスケジュールを見積もり、既知の問題を各自で改善または解消し、アップグレード・プロジェクトを迅速かつ確実に完了できるように支援することです。Oracle ConsultingとOracle Advanced Customer Servicesに加えて、Accenture、BIAS、Deloitte、Kapstone、Persistent Systems、Simeioなどのグローバル・パートナーは、お客様によるオラクルのアイデンティティおよびアクセス管理アップグレード・プロジェクトの計画、テスト、実施を支援するために、Oracle IAM Upgrade Factoryリソースをそれぞれの方法論とサービスに組み込んでいます。Oracle Identity and Access Management 11gを使用していたお客様の多くが12cにアップグレードしており、本書で述べたビジネス面および技術面でのメリットを実感しています。

オラクルのアイデンティティおよびアクセス管理ソリューションの詳細と、アップグレード・プロジェクトの開始については、セールスまたはサポート担当者までお問い合わせください。

## その他の情報

- ブログ : [Modernization of Oracle Identity and Access Management](#)
- 学ぶ : [Oracle Identity and Access Management \(Oracle IAM\) Insights](#)
- 試す : [OAM 12c | OIG 12c | OUD 12c](#)
- アドバイザ : [Oracle Support Advisor Webcast Program](#)
- サポート : [Oracle Softwareテクニカル・サポート・ポリシー](#) (「Oracle Identity and Access Management Releases」を参照)

---

## Connect with us

+1.800.ORACLE1までご連絡いただくか、[oracle.com](http://oracle.com)をご覧ください。北米以外の地域では、[oracle.com/contact](http://oracle.com/contact)で最寄りの営業所をご確認いただけます。

 [blogs.oracle.com](http://blogs.oracle.com)

 [facebook.com/oracle](http://facebook.com/oracle)

 [twitter.com/oracle](http://twitter.com/oracle)

---

Copyright © 2021 Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

本デバイスは、連邦通信委員会のルールに基づいた認可を未取得です。認可を受けるまでは、このデバイスの販売またはリースを提案することも、このデバイスを販売またはリースすることもありません。

OracleおよびJavaはOracleおよびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

IntelおよびIntel XeonはIntel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARC商標はライセンスに基づいて使用されるSPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴおよびAMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devicesの商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。0120

免責事項：本文書は情報提供のみを目的としています。マテリアルやコード、機能の提供をコミットメント（確約）するものではなく、購買を決定する際の判断材料になさらないでください。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。

---